

○農地利用状況調査後の意向確認

(京都府船井郡京丹波町丹波地区連絡会議)(第6回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業振興地域整備
計画見直し・農地利
用状況調査説明会)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年10月18日
- 場 所: 京丹波町中央公民館
- 出席者: 最適化推進委員 7人
- 報告者: 塩 貝 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 京丹波町の中心地域にあり、役場、京都縦貫道路のインターと合わせて道の駅がある
- 中山間に位置づけられる農地もあるが中心地域は平坦でほ場整備された良い農地が展開



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農地利用状況調査を終えて
 - ・農地利用状況調査後に行われる所有者への意向調査について出席委員が学ぶ
 - ・利用状況調査の結果をどのように反映し、農地の最適化を図るのか自らの体験を踏まえた意見が出る
 - ・事務局へ調査結果を報告するだけでは調査の成果が表れないことが多い、委員自らがその課題に対して所有者や耕作を引き受けてくれる人と接触していくことが大切でその結果農地の遊休化、荒廃が防止できた
- 農業会議が主催する府下ブロック別の意見交換会について、委員各位が課題とされている事項を、あるいは京丹波町において課題となっている事項について意見交換がされる会場について照会

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援